

## ミズワラビ、 長岡市小国町に生育する

青柳 秀雄 (小国生物友の会)

ミズワラビ〔新潟県準絶滅危惧 (NT)〕は、近年、県内各地に生育していることが報告されている。

これまでに報告された生育地は、新潟平野 (新潟市、五泉市、阿賀野市、田上町、弥彦村、燕市、見附市、長岡市)、柏崎平野 (刈羽村)、高田平野 (上越市) などの平野部である。

この度、内陸部多雪地の長岡市小国町に新たな生育地が見つかったので報告する。

小国町は、東側は関田山脈 (最高点、城山 384 m) で信濃川流域平野、小千谷市と、西側は八石山塊 (最高点、八石山 517m) で柏崎平野、柏崎市鯖石と隔てられた盆地で、越後山脈の低山地を流れる渋海川 (信濃川支流) 流域に水田 (標高 74 ~ 84m) が広がる。

盆地平野の南部に位置する上岩田集落の下部の農道沿いに数枚の耕作水田 (写真1) を観察したところ、数枚の水田で生育していた。生育する個体は、いずれも小形で (図1、写真2) であるが、個数は多かった。

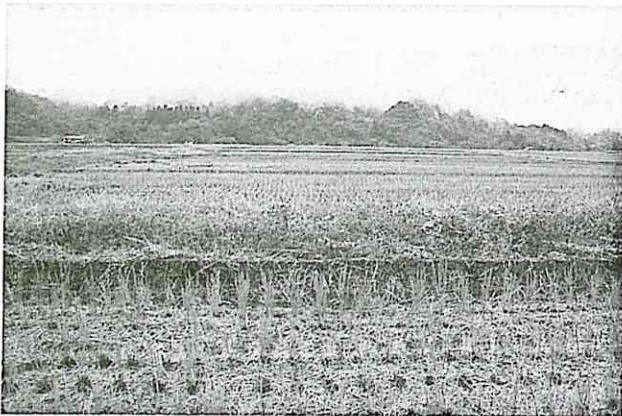


写真1 長岡市小国町上岩田 ミズワラビ生育する水田



図1 ミズワラビ 長岡市小国町上岩田 2007.10.27 採

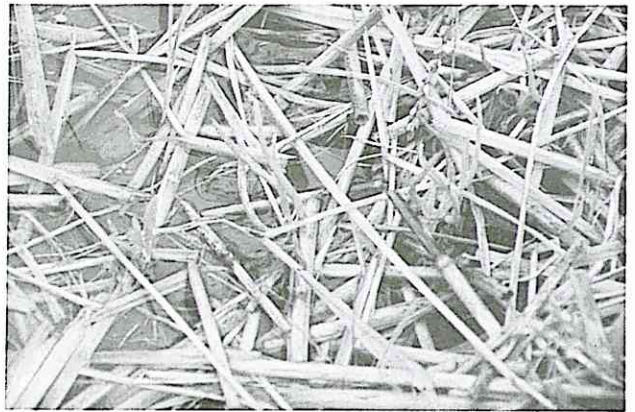


写真2 水田生育するミズワラビ

周辺あるいは小国盆地全域で見つかる可能性あり、調査は今後の課題である。

◇ 調査地：長岡市小国町上岩田 80 m [環境庁メッシュ 5538-7536] (図2)



図2 調査地

ミズワラビの生育する水田に見られた植物 2007年9月26日調査

調査面積：5 × 5 m、出現種数：9種、  
ミズワラビ 1・2、  
ヤナギタデ2・2、トキンソウ1・2、  
チョウジタデ1・1、アゼトウガラシ1・1、  
アメリカアゼナ1・1、イヌビエ1・1、  
コナギ +、タネツケバナ +、

(文責、高橋 務)